東京都市大学等々力高等学校を卒業していく皆さんへ

東京都市大学等々力中学校・高等学校
保護者の会 会長　天野　毅

高等学校３年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。
保護者の皆様、お子様の御卒業を心からお喜び申し上げます。
また、入学してから今まで保護者の会（旧後援会）の活動にご理解、ご協力を頂き、深く感謝申し上げます。

今、高等学校を卒業する皆さんは、大きな希望と少しの不安を持った状況かと思います。沢山の喜びと学び、仲間との楽しい時間、心身共に大きく成長してきた等々力生活であったことは間違いないでしょう。

さあ、これから皆さんは大人の一歩を踏み出す事になります。18歳からは選挙権を持つという立場になるので、一つ一つの行動に責任と自覚が求められますから、軽はずみな行動を取らず、大人として法令を遵守し、何が正しいのかをしっかりと判断していかなくてはなりません。
"noblesse oblige"の精神を常に心の中に保ち、卒業後もそれぞれが選んだ道で、毎日精一杯努力していく事を期待すると同時に、努力出来る環境を感謝し、楽しんでいって下さい。

今の君たちには大きな可能性があります。何にでもトライする事ができます。今年の高校三年生の時間は、残念ながらコロナ禍で思い出に残る様々な行事が中止となってしまいました。しかしその環境でも今、受験に立ち向かっている皆さんへエールを送りたいと思います。
"君の努力は必ず報われる！"“やればできる！!!”
ただし、大学だけで人生が決まるのではないという事も、しっかりと理解して頂きたいです。君たちの人生は長く楽しく、時に厳しい旅なのです。努力し続ければ、必ず今日よりも明日、明日よりも明後日が楽しい素晴らしい日になります。

コロナ禍で、なんとなく少し不安になっている方も多いかと思います。しかし、コロナによって世の中、特に日本に於いては、悪った事もあるはずです。日本の人口構造や世界の経済環境から、コロナが起きなくても必ず今後の日本で起こりうる状態が、コロナによって早く直面できたという事です。リモートでの働き方や学び方、デジタル技術の進化とその活用の浸透等々。
何十年後に起こりうる日本の姿が、一気に前倒しになり、目の当たりになったのが事実ではないでしょうか。

地球上の世界では、まだまだ皆さんが知らない事や理解していない現状が多くあります。しかし、その中で皆さんはこの日本にいます。
紀元前から継続している歴史があり、独自の文化をもち、海と山に囲まれた豊富な自然の下での生活が営める環境、そして先人達が作り上げてきた豊かな文化と、それを作り上げて来た真面目な気質の国民性である、世界でも屈指の素晴らしい日本国に住んで豊かな環境で生活できている事は、本当にありがたい事です。

この国の事を世界は理解しています。また大きな憧れを持っている人も沢山います。その国の将来を君たちが背負っていくのです。

どんなにデジタルが進化しようが、ロボットが現れようが、人と人とのコミュニケーションはしっかりと保たれなくてはなりません。
毎日の挨拶から始まり、人と触れ合うことは、どの様な環境でも必ず起きることであり、相手を想い、信頼関係を一つ一つ築いていくことが大切であるのは間違いありません。
世界がデジタルで“ぎゅっ”と近くなっていく中で、皆さんの活躍の場は益々広がっていくでしょう。各国、各分野で活躍する日本で教育を受けた人は、既に驚くほど多いです。今後君たちが世界へ羽ばたき、更に世界が平和になる様に精一杯活躍していく事を願います。
卒業後も、この都市大等々力にいつでも戻って来て、元気な皆さんの姿を後輩達や教職員の皆様へ見せて頂き、そして君たちの母校での多くの思い出を共有できれば嬉しく思います。

卒業生の皆様の輝かしい未来を心よりお祈り申し上げます。

卒業によせて
～noblesse obligeとグローバルリーダー～

東京都市大学等々力中学校・高等学校
校長　原田　豊

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。
今からちょうど1年前、中国武漢から新型コロナ感染症に関するニュースが入り、瞬く間に日本を含め世界各国に感染が拡大してしまいました。令和3年の現在もなお、その影響下から脱し切れていません。皆さんは大事な高校3年生の1年間は終始コロナ禍の中にあり、まさにコロナに翻弄されてしまった学年でした。
3カ月に及ぶ休校事態、毎朝の検温、審立を立てての昼食、そして何より、コロナ感染の恐怖と闘いながらの受験勉強。本当に大変な1年でした。しかし、いつだったか、私は数人の高3生から直接、「じっとしていると感染のことを考えてしまうので、だからなおさら勉強に打ち込んでいます」という話を聞いたことがあります。実にけなげだなと感心しました。皆さんは、苦しい状況の中でも、立派にその苦難と戦い受験に向き合って来ました。そのけなげさ、一途さに、まず何を置いても最大級の賛辞を贈りたいと思います。
さて、私は常々、皆さんに一人ひとりが後世における時代の証言者となるようなつもりで、新型コロナに人々がどう向き合って来たかを、しっかり観察し記憶しておくのがよいと話してきました。
たとえば、意外と脆弱だった我が国のデジタル社会事情、SNS上でのデマや中傷のおぞましさ、全く均一化したマスコミ論調、首都圏と地方との医療事情の格差、欧米と日本の財政的保証体制の違い、同じく欧米と日本の非常時における私権制限の差（国権と私権のバランス）、グローバル化社会の弊害等々、その他にも細かく見ていったらそれこそ限りなく指摘されることでしょう。皆さんの記憶の中はどんな事柄が刻み込まれていますか。
いずれにせよ、皆さん自身の観察・記憶の集積の中から、現代の課題とか病巣というものが見えてくるように思うのです。それが皆さんにとって今後の大学生活や社会生活における一つのテーマとなり、その解決のため研鑽を積んでいってほしいと思うのです。これから皆さんが歩む大学生活というものは、明確な研究テーマを持たなければ無為な時間を過ごしてしまいかねないのです。
時間を無駄にせず使い切ること、そして困難な問題に果敢に挑戦し解決に向けた努力をすること、それは皆さんのような才能にも環境にも恵まれている人間にとっての「責任と義務」であり、「ノブレス・オブリージュ」の精神そのものであります。皆さんが在学したこの都市大等々力高等学校は、こうしたノブレス・オブリージュの精神を学ぶ学校であったことを、終生忘れないでいてください。
今後の活躍をお祈りします。

保護者の皆様におかれては人生の大きな節目を無事迎えることができ、喜びもひとしおのことと存じます。本当におめでとうございます。そして、長年にわたる保護者の会の活動にご尽力いただいたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

2020年度 各会 活動報告

幹事

10月 3日（土）	会計監査準備/会報誌校正依頼
10月 7日（水）	卒業記念品検討
10月 8日（木）	会計監査準備
10月 9日（金）	卒業記念品打ち合わせ
10月10日（土）	会計監査
10月23日（金）	会報誌仕分け
10月24日（土）	保護者会 お茶菓子配布
10月27日（火）	会報誌発行準備
10月31日（土）	保護者会 お茶菓子配布/謝恩会打ち合わせ 会報誌発行準備・撮影
11月14日（土）	幹事会/謝恩会打ち合わせ/会報誌発行準備
12月12日（土）	会報誌仕分け
12月19日（土）	謝恩会打ち合わせ/会報誌166号発行
1月15日（金）	会報誌発行準備
2月未（日時未定）	会報誌取材
2･3月（日時未定）	謝恩会 生徒顔合わせ
3月 1日（月）	会報誌校正依頼
3月16日（火）	会報誌167号発行
3月17日（水）	慶校卒業式（お疲頭 卒業祝）・謝恩イベント
3月19日（金）	中学修了式（お疲頭 卒業祝）

私学振興父母の会代表委員（※）

10月20日（火）	私学振興予算要望期成大会
10月24日（土）	役員会
11月 4日（水）	私学振興全国大会
2月 6日（土）	役員会

会計監査

10月10日（土）	会計監査

※正式名称：東京都私立中学高等学校 父母の会 第8支部連合会

コロナ対策補助費として寄付金贈呈

監視祭中止により生徒への昼食代として予算を組んでいた金額をコロナ対策の為の費用として学校へ寄付をさせていただきました。

保護者会で瓦せんべいを配布

2020年10月31日に保護者会が開催されました。

前回配布時に大変好評だった瓦せんべいを今回も用意しました。

等々力後援会 https://t-kouenkai.com

卒業に向けて

ご卒業おめでとうございます。また、ご家族の皆様にも心よりお祝い申し上げます。
今年は新型コロナウイルス感染症の拡大で皆さんにとって学習の場や部活動、そして社会生活の一変は、全く予期しなかった学生生活をもたらしたことと思います。現在も感染拡大をしているコロナ禍において全世界の同世代の人たちが同じようにこの困難に向き合い続けていますが、皆さんが等々力高等学校で学んだ事、友達と切磋琢磨し過ごした事をこの先の時間の中で存分に発揮されて頂く事を願っております。
等々力後援会 会長　橋本和行

等々力後援会について

本校支援体制の一層の拡充を目的に、卒業生の保護者を会員とする「等々力後援会」が 2020 年 4 月に発足されました。
これを機に改称した在校生保護者の「保護者の会」、本校卒業生の「同窓会」、卒業生保護者の「等々力後援会」、この三つの支援組織とともに本校の教育活動を支えます。

【令和元年度以降　卒業生保護者様】
卒業と同時に「等々力後援会」の終身会員となっております。
（入会済　入会申込書＆更新手続き不要です。）

アクセスはこちら

私が描きました！

今回は高校3年の先生方を描きました。
某人気アニメを若干モチーフとして使いましたが、概ね似には迷走する社会情勢を「越える」という気持ちを込めてみました。なんてね。　ヒグチ

樋口部長

編集後記

新体制で取り組んだ今年度最終号です。
日々めまぐるしく状況が変化する中、先生方にはご協力賜りまして心より御礼申し上げます。
また、ご卒業を迎える保護者の皆様には、長きに渡る温かいご支援をありがとうございました。

会報誌

通巻：167号　2021年3月
発行：東京都市大学等々力中学校・高等学校 保護者の会
表紙タイトル文字：佐野（元）教諭
表紙イラスト：樋口部長

会報誌

2021年 3月 167号

目次

表表紙　P2
活動報告・寄付金贈呈・保護者会・等々力後援会 会長挨拶とお知らせ・樋口先生コメント・編集後記
会長挨拶・校長挨拶（卒業によせて）　P4
特集：卒業ページ　P3, 5–6
※先生方のコメント順不同

東京都市大学等々力中学校・高等学校 保護者の会